

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会で用いられている AI 等のテクノロジーが持つ機能や役割、実例などの基礎的な情報を自分の言葉で説明することができる ・簡単なプログラムを使って実際に AI を動かすことができる <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的課題について調べ、AI 等のテクノロジー活用した解決方法を提案することができる ・AI が人々、社会にとって正しく活用されるための倫理的判断をすることができる ・テクノロジーが人間個人、社会に与える影響を考察することが出来る ・上記事項について、他者に適切に提示/説明することができる <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AI や新たな技術開発、イノベーションについてより深く知ろうとし、それをういて解決しようとする姿勢を持つことが出来る ・社会的課題に向き合う中で、AI などに代表されるテクノロジーと上手に共生する必要があることに気づき、人間の本来の生き方について追求することができる 	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①実際に AI を社会で活用する人を通じて、社会で用いられている実践的な AI 活用に関わる知識を獲得することができる ②社会課題解決のために、2 年で AI を動かした経験と、社会課題に関わる客観的なデータを基に AI を活用した具体的な提案をすることが出来る <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①AI を活用した社会課題の解決案について、議論などを通じて他者と協働して創造することができる ②AI を活用した社会課題の解決案について、倫理的な判断を加味することができる ③AI を活用した社会課題の解決案について、他者に分かりやすく提示し、他者の考え方や生き方に影響を与えることができる <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①AI や新たな技術開発、イノベーションについて、自発的に調べ知識を追い求めることができる ②社会課題に向き合う中で、AI などに代表されるテクノロジーと上手に共生する必要があることに気づき、自分の生き方について追求することができる 	

授業日	4/18(火)	1 学期授業回数	1 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】① 【思考力・判断力・表現力】①【学びに向かう力・人間性】② 本時の具体的な目標 ・自身の関心のある社会課題と他者のそれとを結びつけ、グループを作成する ・同じ分野の関心を持つ他者と議論を深めることができる		
時間 授業内容	15 15 60	・予定確認 ・クエストカップの紹介 <個人ワーク> Step 1: 自分の興味のある社会課題をロイロシンキングツール: ウェビングを用いて複数挙げる Step 2: 自分のものを画面に提示し、クラスを歩いて他の人がどう考えているか知る <全体ワーク> Step 1: 27 人の中から 6 人のリーダーを決める / 関心の発表 Step 2: 同じ分野に関心を持つリーダーの元に集まる 6 グループ (4 人×3, 5 人×3) Step 3: リーダーが再度自分の関心を語る、メンバーも自分の関心を語る (1 人 1 分) Step 4: グループでどのような社会課題に取り組むかをウェビングを用いながら方向性を決めていく →ロイロで提出	
評価方法	なし		
宿題指示	なし		

授業日	6/15(木)	1 学期授業回数	7 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】①②③ 【学びに向かう力・人間性】①② ----- 本時の具体的な目標 ・フィードバックを受け、仮説を見直すことができる。		
時間 授業内容	15 5 70	・中間発表フィードバックの返却 ・長安さんへの発表の評価ポイントの提示 1) 先行研究に裏付けされた仮説/ストーリーになっているか 2) AI 活用の内容について明確か 3) 発表資料は分かりやすいものか 4) 発表方法(声、視線、熱意)は適切か 5) 時間内か 6) あなたがその社会課題/誰かの幸せに関わることについて、どのような思いを持っているのか ・課題/仮説の見直し = 【改】 ワークシートに取り組む → 授業中(6/20)提出 a) 先行研究のさらなる調査 b) 先行研究番号をワークシートに挿入 c) 仮説の正しさの説明/証明方法 →本?観察?活動?イタビ?アンケート?	
評価方法	なし		
宿題指示	なし		

授業日	6/20(火)	1 学期授業回数	8 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】①②③ 【学びに向かう力・人間性】①② ----- 本時の具体的な目標 ・フィードバックを受け、仮説を見直すことができる。 (前回の続き)		
時間 授業内容	90	課題/仮説の見直し	
評価方法	なし		
宿題指示	なし		

授業日	6/27(火)	1 学期授業回数	9 回目 / 全 9 回																																				
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②③ 【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・自分達の仮説をプロフェッショナルに発表してフィードバックを受けることで、改善することができる																																						
時間 授業内容	15 75	X-mov Japan 社長の長安 成暉氏による会社紹介：学びの記録 各班 5 分の発表、5 分の質疑応答を行う																																					
評価方法	5分間プレゼン+5分間Q&A <table border="1"> <thead> <tr> <th>学習目標</th> <th>観点</th> <th>説明</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【知技②】</td> <td>社会課題の具体性</td> <td>先行研究に基づいて、社会課題の内容が具体的に説明されているか</td> <td>社会課題の内容の説明が、先行研究にしっかりと基づいた具体性に富むものである</td> <td>社会課題の内容の説明が、先行研究にある程度基づいており、具体性も一部見受けられる</td> <td>社会課題の内容の説明が、先行研究にあまり基づいておらず、具体性に欠く</td> </tr> <tr> <td>【知技①②】</td> <td>活用するAIの妥当性</td> <td>どのようなAIを活用するかについて明確に説明されているか</td> <td>AIについての知識、活用方法について問題なく正確に説明することができる</td> <td>AIについての知識、活用方法について比較的正確に説明することができる</td> <td>AIについての知識、活用方法について不明瞭な部分がある</td> </tr> <tr> <td>【思判表③】</td> <td>訴求力</td> <td>発表を聞いている人の考えや行動を変える発表になっているか</td> <td>発表を聞いている人の考えや行動を変えることに、強く働きかける発表になっている。</td> <td>発表を聞いている人の考えや行動を変える発表になっている。</td> <td>発表を聞いている人の考えや行動を変える発表に全くなっていない。</td> </tr> <tr> <td>【思判表③】</td> <td>視聴覚資料</td> <td>プレゼンに適した工夫がなされているか</td> <td>スライドの構成がしっかりまとめられており、文字のフォントやグラフ・図が効果的に用いられている</td> <td>スライドの構成がある程度まとめられており、文字のフォントやグラフ・図にも意図は感じる</td> <td>スライドの構成がまとめられておらず、文字のフォントやグラフ・図にも活かされていない。</td> </tr> <tr> <td>【思判表③】</td> <td>発表の仕方</td> <td>プレゼンに適した工夫がなされているか</td> <td>発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意が強く感じられる。</td> <td>発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意がある程度感じられる</td> <td>発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意があまり感じられない</td> </tr> </tbody> </table> チェックリスト <input type="checkbox"/> ±1分間の発表に収まっている			学習目標	観点	説明	A	B	C	【知技②】	社会課題の具体性	先行研究に基づいて、社会課題の内容が具体的に説明されているか	社会課題の内容の説明が、先行研究にしっかりと基づいた具体性に富むものである	社会課題の内容の説明が、先行研究にある程度基づいており、具体性も一部見受けられる	社会課題の内容の説明が、先行研究にあまり基づいておらず、具体性に欠く	【知技①②】	活用するAIの妥当性	どのようなAIを活用するかについて明確に説明されているか	AIについての知識、活用方法について問題なく正確に説明することができる	AIについての知識、活用方法について比較的正確に説明することができる	AIについての知識、活用方法について不明瞭な部分がある	【思判表③】	訴求力	発表を聞いている人の考えや行動を変える発表になっているか	発表を聞いている人の考えや行動を変えることに、強く働きかける発表になっている。	発表を聞いている人の考えや行動を変える発表になっている。	発表を聞いている人の考えや行動を変える発表に全くなっていない。	【思判表③】	視聴覚資料	プレゼンに適した工夫がなされているか	スライドの構成がしっかりまとめられており、文字のフォントやグラフ・図が効果的に用いられている	スライドの構成がある程度まとめられており、文字のフォントやグラフ・図にも意図は感じる	スライドの構成がまとめられておらず、文字のフォントやグラフ・図にも活かされていない。	【思判表③】	発表の仕方	プレゼンに適した工夫がなされているか	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意が強く感じられる。	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意がある程度感じられる	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意があまり感じられない
学習目標	観点	説明	A	B	C																																		
【知技②】	社会課題の具体性	先行研究に基づいて、社会課題の内容が具体的に説明されているか	社会課題の内容の説明が、先行研究にしっかりと基づいた具体性に富むものである	社会課題の内容の説明が、先行研究にある程度基づいており、具体性も一部見受けられる	社会課題の内容の説明が、先行研究にあまり基づいておらず、具体性に欠く																																		
【知技①②】	活用するAIの妥当性	どのようなAIを活用するかについて明確に説明されているか	AIについての知識、活用方法について問題なく正確に説明することができる	AIについての知識、活用方法について比較的正確に説明することができる	AIについての知識、活用方法について不明瞭な部分がある																																		
【思判表③】	訴求力	発表を聞いている人の考えや行動を変える発表になっているか	発表を聞いている人の考えや行動を変えることに、強く働きかける発表になっている。	発表を聞いている人の考えや行動を変える発表になっている。	発表を聞いている人の考えや行動を変える発表に全くなっていない。																																		
【思判表③】	視聴覚資料	プレゼンに適した工夫がなされているか	スライドの構成がしっかりまとめられており、文字のフォントやグラフ・図が効果的に用いられている	スライドの構成がある程度まとめられており、文字のフォントやグラフ・図にも意図は感じる	スライドの構成がまとめられておらず、文字のフォントやグラフ・図にも活かされていない。																																		
【思判表③】	発表の仕方	プレゼンに適した工夫がなされているか	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意が強く感じられる。	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意がある程度感じられる	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意があまり感じられない																																		
宿題指示																																							

授業日	9/5(火)	2 学期授業回数	1 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②		
	本時の具体的な目標 ・他者のコメント、発表や成果物から、自分が活用、参考にできるポイントを選び出すことが出来る		
時間 授業内容	15 分	・長安さんの回答を共有 → 学びの記録に記入	
	5 分	・Social Change 2 グループ / SC English1 グループ / Small Start 1 グループを確認 形式の確認 / 発表 4 分間 / ポスターとスライド両方用意 / 全員発表	
	25 分	・昨年度の各部門の優勝グループの映像を視聴する → 学びの記録に記入	
	15 分	・グループ内でポスターを共有 / グループの作成方法を検討 → 学びの記録に記入	
評価方法	学びの記録		
宿題指示	グループでポスターを作成し始める		

授業日	9/12(火)	2 学期授業回数	2 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②		
	本時の具体的な目標 ・グループ内で役割分担をし、中間発表に向けてポスターとスライドの作成をする ・		
時間 授業内容	90	発表準備	
		・10 分程度ずつ各グループを担当者が回り、担当者と生徒で壁打ちを行う	
評価方法	なし		
宿題指示	作業を進行する		

授業日	9/26(火)	2 学期授業回数	3 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②		
	本時の具体的な目標 ・グループ内で役割分担をし、中間発表に向けてポスターとスライドの作成をする ・		
時間 授業内容	90	発表準備	
		・10 分程度ずつ各グループを担当者が回り、担当者と生徒で壁打ちを行う	
評価方法	なし		
宿題指示	作業を進行する		

授業日	10/3(火)	2 学期授業回数	4 回目 / 全 9 回																																				
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・有識者（関西学院工学部巳波教授と高等部数学科田中先生）を前に、ポスターとスライドを用いて発表を行うことができる ・質疑に対しても、全員が応答することができる																																						
時間 授業内容	中間発表 <スケジュール> ・4 分間の発表/8 分間の先生との Q&A ・審査員にも評価していただく ・生徒の待機室は和室 ☆巳波先生グループ（ポスター発表）@本校舎 3 階視聴覚教室 13:30- SS 石野 G: AI を用いた食品ロスアプリ 13:45- SS 金榮 G: AI を用いた農業支援/農業教育支援 14:00- SS 河野 G: AI スリープトラッカー 14:15 SCE 村岡 G: チャット型 AI を用いたストレスチェック+悩みシェア+カウンセラーマッチングアプリ 14:30- SS 大路 G: AI を用いた観光客と住民の交通混雑の緩和アプリ 14:45- SC 長谷川 G: AI を用いた高齢者の労働機会マッチングアプリ ☆田中先生グループ（スライド発表）@特別教室棟 3 階第 3 プレゼン教室 13:30- SCE 村岡 G: チャット型 AI を用いたストレスチェック+悩みシェア+カウンセラーマッチングアプリ 13:45- SS 大路 G: AI を用いた観光客と住民の交通混雑の緩和アプリ 14:00- SC 長谷川 G: AI を用いた高齢者の労働機会マッチングアプリ 14:15 SS 石野 G: AI を用いた食品ロスアプリ 14:30- SS 金榮 G: AI を用いた農業支援/農業教育支援 14:45- SS 河野 G: AI スリープトラッカー																																						
評価方法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習目標</th> <th>観点</th> <th>説明</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【知技②】</td> <td>社会課題の具体性</td> <td>先行研究に基づいて、社会課題の内容が具体的に説明されているか</td> <td>社会課題の内容の説明が、先行研究にしっかりと基づいた具体性に富むものである</td> <td>社会課題の内容の説明が、先行研究にある程度基づいており、具体性も一部見受けられる</td> <td>社会課題の内容の説明が、先行研究にあまり基づいておらず、具体性に欠く</td> </tr> <tr> <td>【知技①②】</td> <td>活用するAIの妥当性</td> <td>どのようなAIを活用するかについて明確に説明されているか</td> <td>AIについての知識、活用方法について問題なく正確に説明することができ</td> <td>AIについての知識、活用方法について比較的正確に説明することができ</td> <td>AIについての知識、活用方法について不明確な部分がある</td> </tr> <tr> <td>【思判表③】</td> <td>訴求力</td> <td>発表を聞いている人の考えや行動を変える発表になっているか</td> <td>発表を聞いている人の考えや行動を変えることに、強く働きかける発表になっている。</td> <td>発表を聞いている人の考えや行動を変える発表になっている。</td> <td>発表を聞いている人の考えや行動を変える発表に全くなっていない。</td> </tr> <tr> <td>【思判表③】</td> <td>視聴覚資料</td> <td>プレゼン/ポスターに適した工夫がなされているか</td> <td>スライド/ポスターの構成がしっかりまとめられており、文字のフォントやグラフ・図が効果的に用いられている</td> <td>スライド/ポスターの構成がある程度まとめられており、文字のフォントやグラフ・図にも意図は感じる</td> <td>スライド/ポスターの構成がまとめられておらず、文字のフォントやグラフ・図にも活かされていない。</td> </tr> <tr> <td>【思判表③】</td> <td>発表の仕方</td> <td>プレゼンに適した工夫がなされているか</td> <td>発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意が強く感じられる。</td> <td>発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意がある程度感じられる</td> <td>発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意があまり感じられない</td> </tr> </tbody> </table> <p>チェックリスト <input type="checkbox"/> ±4分間の発表に収まっている</p>			学習目標	観点	説明	A	B	C	【知技②】	社会課題の具体性	先行研究に基づいて、社会課題の内容が具体的に説明されているか	社会課題の内容の説明が、先行研究にしっかりと基づいた具体性に富むものである	社会課題の内容の説明が、先行研究にある程度基づいており、具体性も一部見受けられる	社会課題の内容の説明が、先行研究にあまり基づいておらず、具体性に欠く	【知技①②】	活用するAIの妥当性	どのようなAIを活用するかについて明確に説明されているか	AIについての知識、活用方法について問題なく正確に説明することができ	AIについての知識、活用方法について比較的正確に説明することができ	AIについての知識、活用方法について不明確な部分がある	【思判表③】	訴求力	発表を聞いている人の考えや行動を変える発表になっているか	発表を聞いている人の考えや行動を変えることに、強く働きかける発表になっている。	発表を聞いている人の考えや行動を変える発表になっている。	発表を聞いている人の考えや行動を変える発表に全くなっていない。	【思判表③】	視聴覚資料	プレゼン/ポスターに適した工夫がなされているか	スライド/ポスターの構成がしっかりまとめられており、文字のフォントやグラフ・図が効果的に用いられている	スライド/ポスターの構成がある程度まとめられており、文字のフォントやグラフ・図にも意図は感じる	スライド/ポスターの構成がまとめられておらず、文字のフォントやグラフ・図にも活かされていない。	【思判表③】	発表の仕方	プレゼンに適した工夫がなされているか	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意が強く感じられる。	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意がある程度感じられる	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意があまり感じられない
学習目標	観点	説明	A	B	C																																		
【知技②】	社会課題の具体性	先行研究に基づいて、社会課題の内容が具体的に説明されているか	社会課題の内容の説明が、先行研究にしっかりと基づいた具体性に富むものである	社会課題の内容の説明が、先行研究にある程度基づいており、具体性も一部見受けられる	社会課題の内容の説明が、先行研究にあまり基づいておらず、具体性に欠く																																		
【知技①②】	活用するAIの妥当性	どのようなAIを活用するかについて明確に説明されているか	AIについての知識、活用方法について問題なく正確に説明することができ	AIについての知識、活用方法について比較的正確に説明することができ	AIについての知識、活用方法について不明確な部分がある																																		
【思判表③】	訴求力	発表を聞いている人の考えや行動を変える発表になっているか	発表を聞いている人の考えや行動を変えることに、強く働きかける発表になっている。	発表を聞いている人の考えや行動を変える発表になっている。	発表を聞いている人の考えや行動を変える発表に全くなっていない。																																		
【思判表③】	視聴覚資料	プレゼン/ポスターに適した工夫がなされているか	スライド/ポスターの構成がしっかりまとめられており、文字のフォントやグラフ・図が効果的に用いられている	スライド/ポスターの構成がある程度まとめられており、文字のフォントやグラフ・図にも意図は感じる	スライド/ポスターの構成がまとめられておらず、文字のフォントやグラフ・図にも活かされていない。																																		
【思判表③】	発表の仕方	プレゼンに適した工夫がなされているか	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意が強く感じられる。	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意がある程度感じられる	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意があまり感じられない																																		
宿題指示	なし																																						

授業日	10/17(火)	2 学期授業回数	5 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・前回の中間発表で受けたフィードバックを整理し、改善策につなげることができる		
時間 授業内容	プレゼン練習・録画 → 巳波先生に送信（巳波先生のFB） ★1: 今日 10/17(火) の課題の提示 A) 中間発表を整理しよう ①中間発表で得た巳波先生、田中先生からのフィードバック ②中間発表を通じて感じた自分たちの課題 B) 改善案を提示しよう ①②をどう改善・解決するか、書き出そう C) 再度スライド、ポスター、原稿の見直し ★2: 10/17、10/24、11/14 の課題 A) 巳波先生とのやりとり ・中間発表を改善した発表を動画に撮る ・Classi にアップ：動画、改善点の解説、巳波先生への質問 ・巳波先生からフィードバックをもらう B) 質疑応答の準備 ・発表後に予想される質問をリストアップし、それに対する応答を書き出す		
評価方法	★1 評価観点：課題と改善案のつながり・具体性		
宿題指示	特になし		

授業日	10/24(火)	2 学期授業回数	6 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・改善策に基づいて、自分たちの発表内容と発表をアップデートすることが出来る		
時間 授業内容	プレゼン練習・録画 → 巳波先生に送信（巳波先生のFB） ★10/17、10/24、11/14 の課題 A) 巳波先生とのやりとり ・中間発表を改善した発表を動画に撮る ・Classi にアップ：動画、改善点の解説、巳波先生への質問 ・巳波先生からフィードバックをもらう B) 質疑応答の準備 ・発表後に予想される質問をリストアップし、それに対する応答を書き出す		
評価方法	B) 質問内容の予想力、それに対応する十分な回答		
宿題指示			

授業日	11/14(火)	2 学期授業回数	7回目 / 全9回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② ----- 本時の具体的な目標 ・改善策に基づいて、自分たちの発表内容と発表をアップデートすることが出来る		
時間 授業内容	プレゼン練習・録画 → 巳波先生に送信（巳波先生のFB） ★10/17、10/24、11/14 の課題 A) 巳波先生とのやりとり ・中間発表を改善した発表を動画に撮る ・Classi にアップ：動画、改善点の解説、巳波先生への質問 ・巳波先生からフィードバックをもらう B) 質疑応答の準備 ・発表後に予想される質問をリストアップし、それに対する応答を書き出す		
評価方法	B) 質問内容の予想力、それに対応する十分な回答		
宿題指示			

授業日	11/21(火)	2 学期授業回数	8回目 / 全9回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② ----- 本時の具体的な目標 ・改善策に基づいて、自分たちの発表内容と発表をアップデートすることが出来る		
時間 授業内容	90	プレゼン練習・録画 → 巳波先生に送信（巳波先生のFB） ★10/17、10/24、11/14 の課題 A) 巳波先生とのやりとり ・中間発表を改善した発表を動画に撮る ・Classi にアップ：動画、改善点の解説、巳波先生への質問 ・巳波先生からフィードバックをもらう B) 質疑応答の準備 ・発表後に予想される質問をリストアップし、それに対する応答を書き出す	
評価方法			
宿題指示			

授業日	11/28(火)	2 学期授業回数	9 回目 / 全 9 回																																								
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・有識者（関西学院工学部巳波教授）を前に、ポスターとスライドを用いて発表を行うことが出来る ・質疑に対しても応答することが出来る																																										
時間 授業内容	90	最終発表 ・SC/SCE: 4 分間の発表・5 分間の質疑応答 ・SS: 5 分間の発表・5 分間の質疑応答																																									
評価方法	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">観点1 社会課題の具体性</td> </tr> <tr> <td>A 5点</td> <td>社会課題の内容の説明が、先行研究にしっかりと基づいた具体性に富むものである</td> </tr> <tr> <td>B 3点</td> <td>社会課題の内容の説明が、先行研究にある程度基づいており、具体性も一部見受けられる</td> </tr> <tr> <td>C 1点</td> <td>社会課題の内容の説明が、先行研究にあまり基づいておらず、具体性に欠く</td> </tr> <tr> <td colspan="2">観点2 活用するAIの妥当性</td> </tr> <tr> <td>A 5点</td> <td>AIについての知識、活用方法について問題なく正確に説明することができる</td> </tr> <tr> <td>B 3点</td> <td>AIについての知識、活用方法について比較的正確に説明することができる</td> </tr> <tr> <td>C 1点</td> <td>AIについての知識、活用方法について不明確な部分がある</td> </tr> <tr> <td colspan="2">観点3 訴求力</td> </tr> <tr> <td>A 5点</td> <td>発表を聞いている人の考えや行動を変えることに、強く働きかける発表になっている。</td> </tr> <tr> <td>B 3点</td> <td>発表を聞いている人の考えや行動を変える発表になっている</td> </tr> <tr> <td>C 1点</td> <td>発表を聞いている人の考えや行動を変える発表に全くなっていない</td> </tr> <tr> <td colspan="2">観点4 視聴覚資料</td> </tr> <tr> <td>A 5点</td> <td>スライド/ポスターの構成がしっかりまとのられており、文字のフォントやグラフ・図が効果的に用いられている</td> </tr> <tr> <td>B 3点</td> <td>スライド/ポスターの構成がある程度まとのられており、文字のフォントやグラフ・図にも音図は感じる</td> </tr> <tr> <td>C 1点</td> <td>スライド/ポスターの構成がまとのられておらず、文字のフォントやグラフ・図にも活かされていない</td> </tr> <tr> <td colspan="2">観点5 発表の仕方</td> </tr> <tr> <td>A 5点</td> <td>発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意が強く感じられる。</td> </tr> <tr> <td>B 3点</td> <td>発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意がある程度感じられる</td> </tr> <tr> <td>C 1点</td> <td>発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意があまり感じられない</td> </tr> </table>			観点1 社会課題の具体性		A 5点	社会課題の内容の説明が、先行研究にしっかりと基づいた具体性に富むものである	B 3点	社会課題の内容の説明が、先行研究にある程度基づいており、具体性も一部見受けられる	C 1点	社会課題の内容の説明が、先行研究にあまり基づいておらず、具体性に欠く	観点2 活用するAIの妥当性		A 5点	AIについての知識、活用方法について問題なく正確に説明することができる	B 3点	AIについての知識、活用方法について比較的正確に説明することができる	C 1点	AIについての知識、活用方法について不明確な部分がある	観点3 訴求力		A 5点	発表を聞いている人の考えや行動を変えることに、強く働きかける発表になっている。	B 3点	発表を聞いている人の考えや行動を変える発表になっている	C 1点	発表を聞いている人の考えや行動を変える発表に全くなっていない	観点4 視聴覚資料		A 5点	スライド/ポスターの構成がしっかりまとのられており、文字のフォントやグラフ・図が効果的に用いられている	B 3点	スライド/ポスターの構成がある程度まとのられており、文字のフォントやグラフ・図にも音図は感じる	C 1点	スライド/ポスターの構成がまとのられておらず、文字のフォントやグラフ・図にも活かされていない	観点5 発表の仕方		A 5点	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意が強く感じられる。	B 3点	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意がある程度感じられる	C 1点	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意があまり感じられない
観点1 社会課題の具体性																																											
A 5点	社会課題の内容の説明が、先行研究にしっかりと基づいた具体性に富むものである																																										
B 3点	社会課題の内容の説明が、先行研究にある程度基づいており、具体性も一部見受けられる																																										
C 1点	社会課題の内容の説明が、先行研究にあまり基づいておらず、具体性に欠く																																										
観点2 活用するAIの妥当性																																											
A 5点	AIについての知識、活用方法について問題なく正確に説明することができる																																										
B 3点	AIについての知識、活用方法について比較的正確に説明することができる																																										
C 1点	AIについての知識、活用方法について不明確な部分がある																																										
観点3 訴求力																																											
A 5点	発表を聞いている人の考えや行動を変えることに、強く働きかける発表になっている。																																										
B 3点	発表を聞いている人の考えや行動を変える発表になっている																																										
C 1点	発表を聞いている人の考えや行動を変える発表に全くなっていない																																										
観点4 視聴覚資料																																											
A 5点	スライド/ポスターの構成がしっかりまとのられており、文字のフォントやグラフ・図が効果的に用いられている																																										
B 3点	スライド/ポスターの構成がある程度まとのられており、文字のフォントやグラフ・図にも音図は感じる																																										
C 1点	スライド/ポスターの構成がまとのられておらず、文字のフォントやグラフ・図にも活かされていない																																										
観点5 発表の仕方																																											
A 5点	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意が強く感じられる。																																										
B 3点	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意がある程度感じられる																																										
C 1点	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意があまり感じられない																																										
宿題指示																																											